

イベント報告

2022年シンポジウム 講演1

『先端技術専門技術者の育成とビジネスポテンシャル』

櫻井 努

本日は松島先生と共に取り組んできた、DMG 森精機株式会社の先端技術研究センター設立における人材育成と新たな事業機会創出についてお話ししたい。

まず当社の将来の事業を考えるにあたり、当社の強み弱みを元に事業の再定義をしていく中で、結局は今までとは異なるスキル領域を持った人材を育成しないといけないということになった。それはつまりハードウェアとソフトウェアを融合した、先端領域のスキルということになる。いろいろと考えられる中で、AI、IoT、クラウドの3つのスキル領域に絞り込み、5年間で30人を育成するという目標を掲げた。

そのために、松島先生の協力を得ながら3領域をカバーした教育カリキュラムの作成、必要とされるスキルレベルの定式化、そしてそれらスキルを評価する体系と報酬制度の3つを検討、策定してきた。

それと同時にそういった人材のモチベーションの管理にも配慮してきた。また、そういった制度などと同時に組織文化醸成を意識したオフィス環境づくりなどにも積極的に取り組み試行錯誤を繰り返してきた。

その結果、時間はかかったが、人員数面で人員体制が整備されてきた。そして次の段階として、新たな事業機会への取り組みを検討していく中、松島先生の助言もあり経営管理領域における先端技術の応用に焦点を当てることにした。つまり、サプライチェーンの管理と生産管理の領域となるが、中でもまずは、景気の影響も比較的少なく利益率が高いことから設備保全領域に取り組むことにし、注力してきた。

そのようなかたちで、センターの立ち上げに5年間取り組んできたが、松島先生の教えに従い、センターに属

する所員たち1人1人の、ゆとりある人生の実現、そして社会の役に立つという自己実現という目標を、センターのミッションとして今後も取り組んでいきたいと思っている。

(文責・土屋 繼)

櫻井 努

株式会社 WALC 取締役社長